

JAPAN  
ARCHITECTURAL  
RENDERERS  
ASSOCIATION

発行	日本アーキテクチャーレンダラーズ協会
編集	広報委員会
事務局	〒106 東京都港区六本木7-15-9 井上ビル TEL 03-478-0151
印刷所	株式会社クイック 港区浜松町2-13-9 VOL 2. NO. 1 通巻5号 季刊誌
1981年(昭和56年)3月15日発行(定価¥100)	

# 羽撃け!!レンダラー

## 協会活動に期待する



新しい年を迎まして皆様に御挨拶申し上げます。日本アーキテクチャーレンダラーズ協会が正式に発足して以来、約半年が経過いたしました。「パース」の制作を業とする仲間たちが集まり、お

紹介、話題の建築物の見学会、国際親善等へと発展し、ますます社会的地位向上へと」(AR協会設立趣意書より)発展することを目的としたそれが、理事長はじめ理事ならびに委員の方々、そして会員諸兄姉の努力により、その活動の端緒としてのものが、いま着々と開かれようとしていることは、同慶のいたりです。とは言えいまだ日浅く、これが軌道に乗るためにには、さらなる努力と研鑽が必要であること、言を俟ちません。拙速を避け実のある討議とそして何よりも「対話」をくり返し続けて行きたいと思います。大方諸賢の御活躍と協会のますますの発展を念じております。

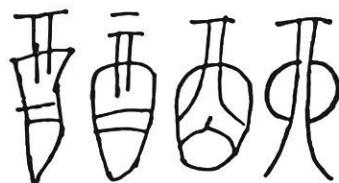
(会長 光藤俊夫)

互いの『人物と作品』を確認し合うことに始まって、技術の

## 手支ばなし

“酉という字は酒瓶の形象から生まれる”

(みつふじとしお)



酉という字の原型

(昭和56年1月1日付 日刊建設通信より)

### 主な内容

- \* 「建築パース展」(日建設計) 建築界、マスコミの評価も高く ..... (5P)
- \* 協会理事大いに語る ..... (2,3,4P)
- \* 四月に設立大会目標、関西支部氣運高まる ..... (5P)
- \* パース屋の知られざる世界を語る——「筆筒」連載始まる ..... (6P)
- \* いい作品を描きつづけたい——これが私の生きがいです。「キャリアウーマン」第1回目 ..... (7P)
- \* 韓国レンダリング事務所「安容植」氏との3日間レポート(理事長 十刈谷氏) ..... (8P)
- \* “ざっくばらんに話しましょう”——建築家・山下和正氏に聞く ..... (9P)
- \* 「建築透視図製作」技能検定試験について初の懇談会開く。  
<AR会員へのメリットを探る> ..... (10P)
- \* 画材屋さん、あなたの出番です。 ..... (11P)



(初日オープニングパーティでにぎわう会場)

# 新春

# 放談

## 理事プロフィー



小西 優延  
(こにし ゆうえん)  
・MPM函代表取締役 (43才)  
・AR協会事務局長  
・東京都出身

うな方向を示唆してゆきたいと思っております。まず理事長から御感想など、ありましたら。

福永一 昨年は、大阪の出足がそろわなかつたり、作品集、原画展も出来なかつたりで、各々意見の違いはあるでしようが、ブルドーザーのように、強力に押し進める力が必要ですね。少しは間違っても何もやらないより、やつた方が良いと思います。手弁当でもなんでも我々の存在を少しづつでもPRしてゆこうと思っています。パースという言葉もやつと浸透してきましたし、この協会を通じて各自の作品の発表も出来るような場を作つて行きたいですね。

小西一 大野さん、企画委員長として6ヶ月やってこられた訳ですが、作品集、原画展などについて考えていられる事をどうぞ。

大野一 企画委員会として、春を目標にして展示会を考えているのですが、資金の点などでなかなか進みません。会費は協会の運営でいっぱいのことなので費用は各自の頭割りで、参加料をいただいて行くことになると思われます。せっかく大勢の今まで知らなかった人々が集まつて始まった事なので、何とかやるしかないと思いますね。又関西と東京、枝葉をのばして全国組織にしたいと思いますね。

小西一 門脇さん、教育委員会としてはいか

がですか。

門脇一 教育委員会ではアンケートの発送集計があるので、集まりが悪く集計出来る段階ではないです。これから協会としての用語・図法の統一、そしてそれを会員に知らせる作業を行つてゆきたいと思っています。それと企画の方にも手伝つていただき、勉強会セミナーも是非開催してゆきたいですね。

小西一 用語・図法の統一という問題と関連して、それを会員に伝えるという点で広報活動も重要なものとなってますが、佐々木さんいかがですか。

佐々木一 広報の立場としては、どんな情報もキャッチして、全国末端まで、知らせてゆかなくてはならないと思います。理事会での答議の内容も開かれたものとして広報誌を通じて知らせてゆきたいと思っています。

小西一 中野さん、清水建設にお勤めで、レンダラーの方達とのつき合いもありでしょが、まだ協会に入ってない方々の協会に対する反応はいかがでしよう。

中野一 興味を示している事は確かですね。私としては、協会員以外の方にも、情報を流し連携を保つてゆきたいと思っています。

小西一 具体的には、どのような事が効果的ですか。

中野一 やはり、多くの人々をリストアップして協会のPRしてゆく事でしようね。

小西一 最近、女性も働く方が増えて、南さんはその草分けとも云えると思いますが、女性レンダラーの数、御存知ですか。

南一 私は、ずっと外とのかかわりなくやってきてるのでちょっと分かりません。



門脇 信夫  
(かんめい しん'ya)  
・脚本家・映画監督 (38才)  
・ドームを出て、昭和64年ヒューマン  
ファクトー設立。現在に至る。  
・事務所原10年現在に至る。  
・フェスティバル・アーチススクール  
スクール。  
・東京都出身  
・教育開発委員長

は私個人の問題かもしれません、10数年やつてきて、パースとのかかわりという事をこの頃考えるのです。描いた物に対する責任とか意識とかいう点で何か弱い点があったのではないかどうかという、そういう意味でパースとは違つた分野の方達のセミナーなど刺激としても、ほしいと思います。

小西一 金沢さん、長い事やってこられてパース界の技術的向上の面とか何かござりますか。

金沢一 近頃若い人の中に卓越してうまいといふ話を聞かないのがさみしいですね。それと技術面でマンネリ化しちゃってるっていう事、それと、職人仕事とビジネスとのギャップが大きく、例えばビジネスに徹すると絵の質が落ちるし、職人仕事に徹した場合、ある

程度年令がいった時どうするか等悩みですね。

小西一 若い人の中に“うまい人”がいないといふ話が出来ましたが、これは技術面で平均化して来たという気持しますが、レンダラーの検定試験が数年前から行つていて、これの現状と将来について、検定委員の森さん、どのようにお考えですか。

森一 検定試験の意義という事ですが、私はキャラリアの十分な方というより、底辺というかまだ浅い人達の励みとなり、レベルアップ

に役立てば良いと思っています。受験者の数が少ないのでその成績でパース界の現状をわかるというのは尚早だと思うのですが…。まあ、今年は数が増えそうなので楽しみにしているのですが…。

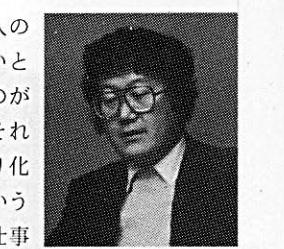
小西一 受験者が少いのは、やはりPRの問題でしょうね。

森一 そうですね。

小西一 PRの問題の外にパースの試験制度という点に問題があるという意見があるようですがその点でどうですか。

森一 私は絵についての審査というより、パースを描くに当つての知識というか学科試験という感じが良いと思うのですがね。

金沢一



金沢 一活  
(かなざわ いっかつ)  
・オズアトリエを経て、カッアドハ  
ウス設立。現在に至る。(36才)  
・事務所原15年  
・建築装飾研究会代表 著者「ベン  
アンドインク」等。  
・東京都出身  
・企画委員長

## ルと抱負語る

小西一 こういった試験制度は外国にもあるのでしょうか。

福永一 イタリアには国家試験があるようです。環境に規制のある国なので、素人にに対する説明用にパースが使われる事も多いようです。日本なんて割と井の中の蛙で我々トップを走つていて、実は、同じ事をやっている、さっき金沢さんが言ったように、ちょっと今迄ね、高須賀スタイルとか清水スタイルとか、竹中のスタイルとかにあまんじてきたきらいがあるんですね。ちょっとクリエイティブな気持ですね。日本独自の描き方とか、高須賀さんがおしゃったように独特の描き方を自分なりに追求して、個性を持たないと生きがいもなくなってしまうと思うんですね。やっぱり審査というのは必要だと思います。だから、さっき絵は審査すべきじゃないとアンデパンダンなんていう絵の展覧会もありますけど、パースはその辺、絵じゃなくてやっぱりある程度忠実であるという使命を受けています。公正取引委員会にでてきましたから、マンションを描いて、いいかげんな木をポンポン入れる訳にはいかなくなりますよ。必ずケヤキはケヤキの木を描かないといけないそういうテクニックを必要だと思います。だから福島さんは随分と木の資料を集めていますが、そういう研究するっていうんですか、又、我々集まってただこう話をするとするだけではなく研究会を持ちたいと思います。

小西一 そんな研究会の話でね、門脇さん具体的にどんな方向というか、技術向上の為のことを考えていますか。

門脇一 やはり、まだそこまでは考えていないんですけど、とにかく得手、不得手というのがあると思うんですよね。得意の物をもっている方達に是非それについて教えを講じたいですね。今福永さんが言つた、福島さんが木の勉強をしていると云われる、御自分で集めた資料を公開していただくとか、テクニックの公開や、セミナーなどをやつていただければいいと思います。資料というと、樹木の形は自分で集めるしかないですね、樹木の形よりも葉の形とかの本が多いと思うんですよ。

小西一 福永さんのところで新しく入つてから一人前になるにはどの位かかるのですか。

福永一 樹木について立派な本があることはあるんですけど、3M位の木の時と、10M位の時と形が全然違つてくる、それに四季の葉の色が違うでしょう、それに少しづつポピュ

ラな木の形は目をつぶってでも描けるくらいなテクニックがなければいけませんね。

門脇一 品川に造園の学校があって、日曜日だけ集中講義をやるというので、一ヶ月間で受けようかなと思ったんですけど、仕事やつていて庭園廻りは任せるからやってくれというようなことが多いですね。そうするとあまりいいかげんなことができないから造園の知識がないとやれないから造園の勉強しようかなと思って、ただ協会で造園の講師を呼んでやれるようになるといいですね。

大野一 木の本ではね、植物図鑑というのは葉っぱの形とか樹木など生物学的になって形そのものはなかなか分からぬですよ。

中野一 造園の事は、私の会社に造園課がありまして技士もいますので、パースに使う木のリストを作つてある最中なんです。協会として引はって来て話す事は可能だと思います。

小西一 さっき福永さんがおしゃった樹木の描き方一つでも公正取引委員会がでてくるというこ

とでしたら、私が以前、あるマンション業者が建てたマンションは建てる前に売れちゃうんですね、オイルショックの前でしたから、青写真にパースを描きまして、出来上がった建物がパースと違つて非常にもめ

まして、たしか一件当り40万～50万円位施主から取つたという例があります、それ以後ですね、これは完成予想図であり実物とは多少異なることがあります、というクレームがついたのは、ただ描けばいいという事ではなく社会的にこれからもいろんな形で、出て来る様に思います。そういう意味でもレンダラーとしての統一した方向を持って行かなといふと将来いろんな問題が出てくるんじゃないかと思うんですけど、いかがですか？

大野一 社会性だと、社会的な責任という事から言うと技能検定ということが必要不可欠な内容を帯びてきますよね。

小西一 福永さんのところで新しく入つてから一人前になるにはどの位かかるのですか。

福永一 私の事務所では大体百枚描くところだと考えてますか一深谷一数年前、技能検定職種に建築パースが組込まれて今日に至っています。当初の経緯は判りませんが、発

に3年かかるんですよ、だからうちは最初から描かすんですよ。なるべくリアルな絵といふ事でやつてあるんですけど、生き甲斐が大事なので個性も大事にしています。さっきの話で、パース描いてこれは完成予想図であつて、実物とは違つてありますということは、実はパースはいい加減だという事の裏づけなんですね。やがて我々が一級、二級の資格が出た時には、この絵は一級のレンダラーが描いた物で実物とほぼ近い物ですといふ様なこと位いにならないと意味がないと思うんですよ。

大野一 教育の方でアンケートをやつてあることで、用語の統一とか色の事は、できれば我々レンダラーとしてはマンセルの色調を持たなければいけないと言つて、これは常にだと考えている。我々レンダラルなどととしてマンセルを勧めたい。

小西一 最後に今年の希望などを協会にからめて、仕事についての抱負について各自お聞かせ下さい。

福永一 協会で各工業高校の先生方を教えて、その先生方から、この協会のPRをして広めてゆき、将来コンクールなどを開催したいと思います。

佐々木一 とにかく中央のレンダラーだけじゃなく、会えれば地方のレンダラーとの接触をしたいと思います。それと横のラインを強めたいと思います。

森一 各レンダラーの色々なヒントを得て発憲しました。

門脇一 協会が出来たという事で、責任感というか、一枚一枚の絵に意識する様になりました。

中野一 ぜひ協会で作品集を発行して顔と作品が合うように実現するように思います。

南一 一枚一枚の絵を自分の生き方として外とのかかわりをしたいと思います。

金沢一 今年はぜひ、年鑑を発行したいと思います。(企画委員として)

大野一 この協会を全国組織として広めたいと思います。

小西一 最後に、81年のみなさんの御活躍を願つて最後とします。どうもありがとうございます。

### 【これより誌上対談】

—「技能検定」を担当していることでA&R協会と検定協会は今後どんな関りを保つべきだと考えていますか—深谷一数年前、技能検定職種に建築パースが組込まれて今日に至っています。当初の経緯は判りませんが、発

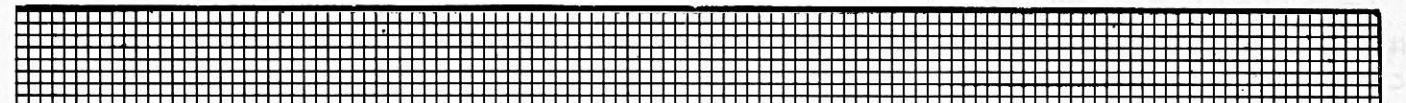
足時には関係者の並々ならぬ御苦労があった事と推察致します。然し基本的に、我々がたゞさわっているパースが、他職種と内容その他種々の面で同一に近い条件のもとで、受験、審査、評価がなされている事が妥当であるのか？疑問が生じます。

パースは描法・表現を見ても差違は巾が広く個性のないものは二流以下であると極論を下す者さえいる程、個性を尊重すべきものだと思われます。試験そのものについても、或るスタイルで表現する場合などは時間不足で不可能に近い状態であり、反対にモノクロに淡彩となれば、1時間もあれば充分達成出来る場合もあることでしょう。この様な性格を持ったパースが現制度の枠内で正当な価値判断が得られるとは到底考えられません。

一仕事をしていてAR会員としてPRなどやっていますか。深谷一私個人としては積極策を持って居りません。機会があればそれとなく伝える程度で自己反省中です。

一協会の態度に何を望みますか（建設的に）。深谷一急な手段を用いず、5年計画ぐらいの単位で立案し諸策の展開もゆっくりやって欲しいです。

一最後に深谷氏の今年の抱負をお聞かせ下さい。深谷一昨年の忘年パーティーの席上、いみじくも高須賀氏が提唱した地方性云々…私なりに理解すれば、個性の主張を試みることだと考えたいですね。会員相互の信頼に立ち、しっかりした基盤を構築、社会に対しレベル向上の成果を訴えたい。



一協会にとって今年はどんな年になると思いますか。刈谷一船出した協会にとって今年は正念場の大切な一年になると思います。スマーズに軌道に乗る様に力いっぱい頑張りましょう。

・レンダリングRIYA代表 (39才)  
・建築設計・デザインコーナーTANA  
を経て、昭和38年レンダリングRIYA  
入社、事務所歴18年。  
・京都出身  
・関西支部理事 (広報委員会)

一協会にとって今年はどんな年になると思いますか。刈谷一船出した協会にとって今年は正念場の大切な一年になると思います。スマーズに軌道に乗る様に力いっぱい頑張りましょう。

一関西支部設立準備大会での反応はどうでしたか。一刈谷一予想以上に大きな反応を受け力強く感じると共に皆様と力を合わせて、すばらしい協会にしていきたいと思っています。まだ連絡の取れないレンダラーの方も多数おられると思いまし、近畿だけではなく四国、中国、九州方面にも働きかけて行かねばと考えています。

一関西支部の理事として組織作りの構想をお聞かせ下さい。刈谷一関西の皆様と充分コンセンサスを取りながら協会を作りたいと考えております。高い理想を掲げつつ和気あいあいとした雰囲気で組織作りに取り組んでいきたいと考えています。

一協会は今後どんな方向に進むべきだとお考えですか。辻本一A&Rが他団体に認められADC, ADA, JPDA, JTA, SDA, TCAAで構成されているNAAC（日本広告技術協議会）に加盟できるよう協会づくりに力をそそぎたいと考えています。

一協会員となって変わった点、メリットなどありましたか。刈谷一レンダリングに対する考え方方は変わりませんが、永年、この世界で仕事をしながらも他の（絵画）世界に色目を使っておりましたが、いよいよ、レンダリングの世界からのがれることができなくなつたという思いです。これを機に、どっしりと腰を立てやって行こうと考えております。

一ありがとうございました。

一最後に今年の抱負をお聞かせ下さい。刈谷一特別に抱負といったものは持ちませんがいつも悔いのない時を過したいと心がけております。一作一作に心のこもった、せいいつ

ぱいのものを発表していきたいと思っていま

す。

一昨年12月3日に開催された「設立準備大会」での感想は。辻本一関西支部準備大会が昨年12月13日に催され予想以上のレンダラーの出席と協会の発足を期待されていたという実感があり先々レンダラーにとってなくてはならない協会に発展するとの確信が得られました。

一今年は関西支部としてどのような組織作りをめざしますか。辻本一本年4月中を目標に関西支部設立総会を考えています。

一関西支部は東京支部との連絡を今後どう考えていますか。辻本一本部（東京支部）の理事会になるべく出席をし、関西支部との連絡を密にしたいと考えています。

一協会は今後どんな方向に進むべきだとお考えですか。辻本一A&Rが他団体に認められADC, ADA, JPDA, JTA, SDA, TCAAで構成されているNAAC（日本広告技術協議会）に加盟できるよう協会づくりに力をそそぎたいと考えています。

一今年の抱負をお聞かせ下さい。辻本一当面、関西支部の発足に当たり正会員の増員と総会の準備にとりかかっています。

一ありがとうございました。

一最後に今年の抱負をお聞かせ下さい。刈谷一特別に抱負といったものは持ちませんがいつも悔いのない時を過したいと心がけております。一作一作に心のこもった、せいいつ

ぱいのものを発表していきたいと思っていま

す。

一昨日12月3日に開

催された「設立準備大

会」での感想は。辻本一

関西支部準備大会が

昨年12月13日に催され

予想以上のレンダラー

の出席と協会の発足を

期待されていたとい

う実感があり先々レン

ダラーにとってなくては

ならない協会に発展す

るとの確信が得られま

した。

一関西支部設立準備

大会での反応はどうでしたか。一刈谷一予想

以上に大きな反応を受け力強く感じると共に

皆様と力を合わせて、すばらしい協会にしてい

きたいと思っています。まだ連絡の取れない

レンダラーの方も多数おられると思いま

し、近畿だけではなく四国、中国、九州方

面にも働きかけて行かねばと考えています。

一関西支部の理事として組織作りの構想をお聞かせ下さい。刈谷一関西の皆様と充分コ

ンセンサスを取りながら協会を作りたい

と考えております。高い理想を掲げつつ和氣

あいあいとした雰囲気で組織作りに取り組

んでいきたいと考えています。

一協会は今後どんな方向に進むべきだとお

考えですか。辻本一A&Rが他団体に認めら

れADC, ADA, JPDA, JTA, SDA,

TCAAで構成されているNAAC（日本

広告技術協議会）に加盟できるよう協会づ

くりに力をそそぎたいと考えています。

一今年の抱負をお聞かせ下さい。辻本一当

面、関西支部の発足に当たり正会員の増員と

総会の準備にとりかかっています。

一ありがとうございました。

一最後に今年の抱負をお聞かせ下さい。刈谷一特別に抱負といったものは持ちませんが

いつも悔いのない時を過したいと心がけてお

ります。一作一作に心のこもった、せいいつ

ぱいのものを発表していきたいと思っていま

す。

一昨日12月3日に開

催された「設立準備大

会」での感想は。辻本一

関西支部準備大会が

昨年12月13日に催され

予想以上のレンダラー

の出席と協会の発足を

期待されていたとい

う実感があり先々レン

ダラーにとってなくては

ならない協会に発展す

るとの確信が得られま

した。

一関西支部設立準備

大会での反応はどうでしたか。一刈谷一予想

以上に大きな反応を受け力強く感じると共に

皆様と力を合わせて、すばらしい協会にしてい

きたいと思っています。まだ連絡の取れない

レンダラーの方も多数おられると思いま

し、近畿だけではなく四国、中国、九州方

面にも働きかけて行かねばと考えています。

一関西支部の理事として組織作りの構想をお聞かせ下さい。刈谷一関西の皆様と充分コ

ンセンサスを取りながら協会を作りたい

と考えております。高い理想を掲げつつ和氣

あいあいとした雰囲気で組織作りに取り組

んでいきたいと考えています。

一協会は今後どんな方向に進むべきだとお

考えですか。辻本一A&Rが他団体に認めら

れADC, ADA, JPDA, JTA, SDA,

TCAAで構成されているNAAC（日本

広告技術協議会）に加盟できるよう協会づ

くりに力をそそぎたいと考えています。

一今年の抱負をお聞かせ下さい。辻本一当

面、関西支部の発足に当たり正会員の増員と

総会の準備にとりかかっています。

一ありがとうございました。

一最後に今年の抱負をお聞かせ下さい。刈谷一特別に抱負といったものは持ちませんが

いつも悔いのない時を過したいと心がけてお

ります。一作一作に心のこもった、せいいつ

ぱいのものを発表していきたいと思っていま

す。

一昨日12月3日に開

催された「設立準備大

会」での感想は。辻本一

関西支部準備大会が

昨年12月13日に催され

予想以上のレンダラー

の出席と協会の発足を

期待されていたとい

う実感があり先々レン

ダラーにとってなくては

ならない協会に発展す

るとの確信が得られま

した。

一関西支部設立準備

大会での反応はどうでしたか。一刈谷一予想

以上に大きな反応を受け力強く感じると共に

皆様と力を合わせて、すばらしい協会にしてい

きたいと思っています。まだ連絡の取れない

レンダラーの方も多数おられると思いま

し、近畿だけではなく四国、中国、九州方

面にも働きかけて行かねばと考えています。

一関西支部の理事として組織作りの構想をお聞かせ下さい。刈谷一関西の皆様と充分コ

ンセンサスを取りながら協会を作りたい

と考えております。高い理想を掲げつつ和氣

あいあいとした雰囲気で組織作りに取り組

んでいきたいと考えています。

一協会は今後どんな方向に進むべきだとお

考えですか。辻本一A&Rが他団体に認めら

れADC, ADA, JPDA, JTA, SDA,

TCAAで構成されているNAAC（日本

広告技術協議会）に加盟できるよう協会づ

くりに力をそそぎたいと考えています。

一今年の抱負をお聞かせ下さい。辻本一当

面、関西支部の発足に当たり正会員の増員と

総会の準備にとりかかっています。

一ありがとうございました。

一最後に今年の抱負をお聞かせ下さい。刈谷一特別に抱負といったものは持

期待が書かれていました。

・討議の結果

1. アンケート①・②を参考に当委員会としての図法のモデルを作成して検討することにしました。

2. 用語、呼び方は、日本語と英語の2通り考えられるが、日本語を検討すると同時にアメリカで仕事の経験のある人に協力をお願いすることにしました。

以上アンケート16通の回答を見て、まったく同じ回答をしているのは、所属事務所（会社）が、同じであった人達の場合だけであって、他では同一回答は見られませんでした。これ等凡てを参考資料として、調査、研究を重ね皆様の期待にこたえたいと思います。

尚、アンケートにご協力くださった16通の方々に御礼申し上げます。又、アンケート未提出の方々に今からでも結構ですので返送をお願い致します。

'81に期待をこめて



(霞ヶ関ビル東海大クラブ会場)

80年最後を飾るA Rの忘年パーティーは、多忙事にもかかわらず参加者30数名で開催された。大野氏の司会により福永理事長の挨拶があり、その後乾杯歓談とパーティは進められた。キャンドルサービスが始まるとピアノ伴奏のもと清しこの夜を齊唱、大野氏のボーカリストが会場に一段とクリスマスマードを盛り上げた。

次いで新会員の紹介、各委員長より委員会分科会の経過説明があり、新人の教育システム、会員の作品の展覧会等の報告があった。各委員長の挨拶はA R協会の拡充とレンダラーズの社会的地位の向上が語られていた。

ここで冒頭挨拶を辞退されていた高須賀氏の談話がありクリエイティブな発想を強調地方性の重視就中江戸～関西の特性を根元とした日本のバース制作の展開を力説された。筒袖袴に駒下駄のユニークなスタイルで発言されたことが一層印象的であった。つづいてビンゴゲームに夢を……本年の運勢もこれまで……終了後理事長の宣言、写真撮影、閉会の辞も福永理事長が立たれ来年も業界にとり良い年になるよう祈りますと結び、螢の光の声を合唱完了とした。

尚2月中旬日建設計バース展を催す由、森氏より予告がありました。

連載 <1>

光藤俊夫の交遊録

協会の広報委員会から「回想録」を連載して欲しいという話がありました。協会のことについてはこの際、何をおいても協力しなければならない私ですが、「回想録」などという、せめて還暦を迎えたあとの人でなければ面白くもおかしくもないそんなものを、まだ若い(?)私にものせるわけがありません。これまた再三の辞退にかかわらず、佐々木清委員が必死にいきがります。どうしても彼は私を「お爺さん」扱いにしたいらしいのです。しかば、とまずは彼、佐々木清のことから書き始め、そのウップンを晴らしてやろう。ということになるのですが、何のことではなく、これで彼の計略にマジマジ乗せられてしまふことになります。ともかく佐々木清が、當時課長（竹中工務店設計部）だった私の部下として、現場の作業員から編入して来たのは昭和四十二年、今でも「トッチャン坊や」的な面貌は変りませんが、もっともっと色々可愛く、信長が、この他重用していた森蘭丸とは、ひょっとしてこんな人物ではなかったかと思わせたものでした。それがまことに下手くそなスケッチと煮ても焼いても食えない自作のバースを携えてやって来たのです。聞けば、ちょっとした「絵ごころ」があり、「本人の希望もあって」、作業員として現場に置いておくよりも、という作業所長のはからいからだったのですが、今にして思えばその作業所長にはいくぶくかの先見の明があったとは言え、よくもまあ何が「絵ごころ」だと、実はいささか困惑気味の私ではあったのです。しかし勤勉でくそじめ、いまのところそれしかとりえのないこの男には、とくかく私の「手」をまずは真似て貰うことより他に仕方ありません。そして彼は、まことに忠実に、その良い所も悪い所もあわせ、真似てくれました。

しかし当時の私は、「バース」の面倒もみなければならなかった他にも、建築やインテリアの図面に多忙をきわめていて、そういつも、彼の手をとり足をとり、というわけにはいきませんでした。その後、彼の腕の、思いがけなく伸びつつある状況をみはからって私は上司に進言し、彼を当時発足したばかりの「講談社のフェマース・スフルズ」に放

り込むことにしました。そこで彼がファンイラストレーターの穂積和夫さんはじめこの分野におけるいろいろな人たちと接触出来たことは、彼の心情や技能を豊かにするための尊い経験であったように思われます。やがて彼は私を追い抜きます。と言うよりもジャコビイを知り心酔し、あのこまめな手法を、彼一流の「くそまじめ」までなり、せっかちな私などには到底まねの出来ない「細密画法」を自家薬籠中のものにするのです。今日佐々木清は、すでに何人の後進を育て、著書もありこの道での第一人者に数えられています。それは彼自身の努力の賜であると自負出来るものにちがいありませんが、その交遊における多くの友人たちからの貴重な示唆に負ったことの大きさも、多分忘れてはいないでしょう。

だからこそ彼は協会に対するに蘭丸の如く、まったく奉仕的に奔走することをいとっていないわけですが、先年みめうるわしき妻をめどり、その前髪を剃り落とし、やっと「大人の世界」に入ったばかり、と言えば言える若々しさには、十分な余力を残し健康そのものといった感があり、まだまだこれからです。そしていまドデカイ仕事をやってくれるにちがいありません。期待することや切です。

注「バース屋」とはタイトル上のがぎやぐであって正式名称として扱っている。アーキテクチャル・レンダラーズにさからっているわけではありません。念の為。



(絵とタイトル筆者)

# 日本初建築バース展

## 建築文化の一翼を担って（南天子画廊）

建築バース展の日程は次の会場で開催されました。

東京展

2月16日(月)～2月21日(土)  
南天子画廊（原宿又兵衛、三井銀行）  
中央区京橋3-6-5 TEL (03)563-3511

大阪展

2月24日(火)～3月1日(日)  
梅田近代美術館（梅田新都心第一生命ビル）  
北区曾根崎2-3-7 TEL (06)364-5165

名古屋展

3月3日(火)～3月7日(土)  
名古屋画廊（原宿産業通り）  
中区栄1-12-10 TEL (052)211-1982



(連日満員の南天子画廊会場)

## 『バース展』によせて

森 芳信

創立30周年を迎えた当社の記念事業のひとつとして、建築バースの展覧会を開催しました。レンダラーという本格的なスペシャリストが出来て20年余り、当初は「レンダラー」という言葉どころか「バース」という言葉さえまだ一般には通用しておりませんでした。当社でも丁度その頃より専門にバースを描く者をおく様になり、設計を手掛けた作品の数もさることながら、バースの作品も今や膨大な数となりました。ある時は勝手気ままに、

バースの技法書、作品集の発刊がちょっとしたブームになりかけた昨今ではありますが、夜を徹し精魂込めて描き上げたものの心臓を語るにはA4判程度の紙面で語り尽くせるものではないはずです。レンダラーの技法、テクニックで以て設計者の意図を、デザインを原画及び原寸大のプリントで語りかけ、批判を願おうというの多大の勇気の用する反面、この様な晴れがましい機会に臨める、こ

## キャリアウーマン



にしきわ川ひでよし  
日出代



・関西支部会員  
・レンダリングRIYA㈱事務所所属  
・大阪出身  
・バース歴12年  
現主任

私は全くの素人から、刈谷所長に教わりながら今日に至っています。

油絵が好きで、休日には山や民家などをよく描きに出かけるのですが、仕事で得た多くのことがプラスになっています。そして仕事にとっても、自然から得た色調や形、季節などのとらえ方がとても役立っています。ジャコビイの、『まだ現実に存在していない建物

れ程光榮なことはないと感激しておる次第です。これには、ひとえに一設計事務所としての日建設計という組織が英断を以ってこの企画に臨んでくれたこと、そしてこの企画に賛同いただいたオーナーの方々の御協力によるものであります。10年余り前に描いたバースを是非出展したく、設計担当者を通じ、オーナーの方に駄目を承知で趣旨を説明、原画が残っていないか問い合わせて貰ったところ、何と竣工後も大切に保存してあること、早速小生が伺ったところ、丁重なもてなしを受け拝借してきました。これぞレンダラー冥利に尽きたと申せましょう。

今回始めての企画でもあり、格別テーマも設けず、代表作品の羅列に終始しておりますが、我々の作風というものは、決して器用な又派手な目を見張る様なものはひとつも無いはずです。連日の様に夜を徹し眞面目にコツコツ描き上げたものばかりです。それは筆の使い方でも絵の具の調合の仕方でもなく、その建築物が実際にその場所に建ったときにどの様に見えるか。形が、色が、テクスチャーや、空間が見る方向、角度、距離、明るさによってどの様に見えるかということに常に気を配り取り組んで来ました。そういった一端でも見ていただき、御批判、御指導願えれば、さいわいです。

今回の当社の展示会が、レンダラーズ協会のみならず、建築界に於ても何らかの起爆剤となり作品の公開、交流により技能の向上と後進の育成、レンダラーの立場の向上的為の一端を担うことができれば、さいわいに思います。是非御高覧下さい。

(日建設計・日本A R協会監事)

(この原稿は開催前に執筆したものであること)

をお断りしております（広報委）

るよう表現するのが、商業建築バースの役目だと思います。しかし、誇張やごまかしで人目を引く様なことは、慎むべきだと思います。まして、設計者が計画以上のことをバースに要求するのは目的がないで、そのような時は、計画自らを練り直す必要があると思います。

バースは単に計画段階での一商品だけではなく、芸術的価値の高いものにしてゆきたいと思います。すばらしい作品を造るためにには一定の時間が必要なのですが、急がなければならぬ時大変つらく思います。時間に追われながら、すべての神経と力を集中させて一気に仕上げていくには、強靭な体力が必要です。そして自分の仕事に対する熱意と周囲との連携意識があれば、どのような時でも乗り越えてゆけると確信しています。

人間にとて、どのような職業であってもものを産み出すことは、どれほどすばらしく大切なことです。強く感じています。

## 韓国「安」レンダリング事務所を訪ねて

＜海外リポート＞

安容植氏はソウル市で20名程の所員をもつレンダリングと模型製作会社のプレジデントです。彼が5月に来日し、親しくレンダリングについて話し合い多くの事務所を見学し、友好を深めて帰国された事は、会員の皆様はニュースですでにご存知だと思います。

9月に安氏から福永理事長に、今度はぜひ韓国へ来てほしいとの招待があり、理事長のお説いて大阪から私がお供する事になりました。なにしろ名にしおうカソクですので理事長に公人としての品位を保っていただか為に堅物で通っている私がセーブ役として出かけた次第です。一時間半で行ける外国ですが、やはり、パスポート、ピザ、マネーエクスチェンジ、と手続きは世界一周するのとあまり変わりません。手続きの軽便さと費用の割安という点で交通社のパック旅行で行くことにしました。旅行日程は3日間という短いスケジュールなので、ソウルのみを見学する予定です。機内では、早や鼻の下が伸びっぱなしの他の団体客を、軽蔑のまなざしで睨み廻し、レンダラーズ協会の将来について、高貴な会話に一時間半もあつという間に過ぎました。金浦空港には、安氏の笑顔が出迎えてくれました。旅行社が2人の団体客の為に用意してくれたマイクロバスを返して、安氏のオペルでホテルへと向う。ソウルの最初の印象は、町の要所に自動小銃を持って立つ兵士の姿にこの国のきびしさを感じ、又、対称的に周囲の山が岩と小木の疎林で、何となく頭髪が寂しくなった人の頭を見る様で、少しユーモラスでほろにがい感触を受けました。

もっとも、冬枯れの季節のせいもあったのでしょうか、ガイドさんの話では、オンドル(パネルヒーティング)に使う為に昔から無制限に木を切りすぎた結果だそうです。初日は安氏の運転と交通社のガイドの青年の通訳でソウル市内をざっと一周。高層アパートがあちこちに建ち並び道路の拡幅工事や地下鉄工事等もさかんに行なわれている。ただ私の目には少し性急で、強引に形をととのえようとする様な、正に高度経済成長の姿を見る様に思われました。

2日目は日本語の大変上手なおばさんがガイドに付かれ、安氏のオフィスの見学、今日も朝早く安氏がホテルまで迎えに来て下さる。オフィスはホテルから15分ぐらいの所です。2階建てのビルで1階が応接と事務室があり、書棚に日本のレンダリングの本や絵の本もたくさんつまっている。この中の一冊のレンダリングの作品集が彼との友好のきっかけなのです。アトリエは2階にあり、三方の壁面に向って机が並べられ、中央に大きなテ

ブルが二つ向い合わせにレイアウトされています。用具はほとんど韓国製ですが、日本へ来られた時に仕入れられたキャンソンボードと、ホルベインの絵具を部分的に使っておられる。ニュートンや、ターレンス等はほとんど手に入らない様です。製作時間は、想像していたよりはるかに速く、平均2日ぐらいで仕上げている様です。レンダリングのオフィスの次は少し離れた所にある模型を作るオフィスへ。この事業はまだ始めたばかりだそうですが、韓国には模型を専門に作る会社は無く、安氏の先見性をガイドのおばさんはさかんにほめています。ここも2階建の建物で下がガレージになっており、2階が作業場になっていて、六人程のスタッフが完成間近い作品の仕上げにかかっておられた。日本の模型と比べるとまだ少し差がありますが、安氏の研究熱心をもってすれば追いつく日も遠くはないでしょう。次に安氏の敬愛をおられる金源竜氏のオフィスへ案内していただき、「日本からレンダラーが来る」という事で、金氏の友人や安氏の友人のレンダラーも集っておられた。日韓レンダラーズ会談?が行われました。



(写真は安氏(中央)と理事長(左)と刈谷氏)

金氏は東京の川端塙で絵を学ばれた方で、非常にすばらしいペースの作品と、日常的に行っておられるスケッチ集を見せていただきました。安氏を始め、スタッフの方、友人のレンダラーに共通して言えることは、日本に学ぼうという謙虚で熱心な態度です。この方々のむさぼるような研究心に耐えうるものを作り行かねばと心を新たにする想いでした。

食後は石本建築事務所の設計によるウォーカーヒルホテルを見学し、これも又、アーキテクチャーランダラーとしての立場を堅持し、他のギャンブラーとは全々異質の学研的立場で?2時間程の時間を過し、ホテルを出る時は何故か二人共少しサインがふくらんでいました。結局滞在3日間安氏は我々につきっきりで空港から空港まで、我々は全くタクシー・バス電車に乗ることなしに、ソウルを見て廻ったことになります。安氏との一層の友好

と親愛の情を深めて帰国の途につきました。安氏への感謝の気持をこめて。私の紀行文とします。

(刈谷 拓爾)

刈谷氏の報告にある通り韓国のレンダラーはとても熱心で、この道30年のベテラン、Mr 金源竜(60才)をはじめ、ソウルだけでも30人は下らないとの事です。Mr 安は韓国でも至急レンダラーの協会的なものを組織したいと語っていました。Mr 安は美術分野からこの道に進まれた方ですが我々のAR設立総会の時も国際電報で祝電を協会宛に頂いています。又以前から日本のレンダラーズの仲間に入れて欲しいと以前から申し入れがありました。現時点では、国内の組織作りがまだ完全ではないので整い次第インターナショナルの会友の申込書を送ると伝えておきました。国外の会友の扱いをどうするかについては、理事会で決める事になろうかと思います。韓国の建設ブームが少し冷えたとはいえまだ日本に比べると、かなりのピッチで行われており、金寿根氏の設計のものはレベルが高く目を見はるものがあります。ソウルは街のド真中に巾100Mもあるうかと思われる道路がありその横にシザベリー設計の日本にあるアメリカ大使館と全く同じ建物が隣と建っていました。至る所に撮影禁止の場所があり、シャレたレンガの建物をパチリとやった所、これがK C I A の建物だったらしくもう少しでフィルムを没収されそうになったり、街の中をジープに乗ったUSのMPがすごいスピードで飛ばしていたりで、戦後の日本を彷彿とさせるところがあります。

日本のレンダラーの皆さん訪韓の節はぜひ安建社(Mr 安のオフィス)にお立ち寄り下さいとの事でした。韓国へ行かれる前には是非光藤会長の本、プレゼンテーションのテクニック(商店建築社)の35ページのハングル文字のマトリックス表を覚えて行かれる事をおすすめします。(1時間もエクササイズすれば名刺の文字位は読めるようになります)ではアンニョンヒカセヨ!

Mr 安のオフィスの住所は下記の通り  
ANKUNSA ARCHITECTURAL  
RENDERINGS Phone 793-0657  
793-5465

OFFICE 140  
JAE-SUNG BLDG ROOM 201  
# 739-16  
HANNAM-DONG YON SAN-KU,  
SEOUL, KOREA.

(福永 文昭)

## 建築家に聞く<sup>①</sup> 山下和正氏

今日のテーマは新春放談という事ですが、かしこまった形ではなく雑談の型で喋らせていただきます。建築の世界ではいろいろな分野がありますが、特に皆さんの属している分野の方々がある意味では一番恵まれているのではないかでしょうか。申しますのは我々の分野ではあまりにも複雑な要素が多いからです。たとえば学閥(これも他の分野よりはよいかも知れません)組織にいる方々又官庁にいる人達その他市井の建築家等が入り交って仕事をしている性質上皆さんの分野の様に比較的明解に割切れない為です。ですから建築家協会あるいは建築士会等他にもいろいろありますが、まとめていくのが本当のところは大変な様です。その上日本では個人が代表とされる事が少ないので、例えば何々会社の誰それですか何々役所又は官庁の何課の誰それですかという様に本人が表に出ずバッケージ表面に出てくるからです。そのよい例が名刺を見れば日本と外国の差がはっきり出ていると思います。それにくらべて皆さんの世界では直接絵を描いた人が表に出てこられるからです。ですから他の協会よりも皆さん方の資格があく迄も個人参加である事というのが我々から見ますとうらやましいかぎりです。この協会が順調に育ちまして将来ナショナルオーソリティになつて、又近隣諸国も含めた大きな組織になり確固たる地位を築かれる事を望みます。しかし皆さんの職業はT定期規一本あれば食べて行かれる事ですし、又逆に考えればまとめるのが大変だとは思いますが一分野を確立させる為に皆さんが大いに活躍して下さい。その折は今迄と違つて只たんにもらった図面からバースを描くだけでなくどうしたら建築家の望む以上の建物になるかあるいはデザイン的にはどうしたらよいか建築家と同じ次元でのものを考えられる様に基礎を勉強し更に広い視野で物事を見つめ体験をしていただきたい。例えばよくバースを描いていただく時南欧調とか何々調とかいう様な注文があった場合、実際にそういうものを見る事やあるいは実際にそのものを見れなくと



・建築家(日本建築家協会会員)  
・山下和正建築研究所代表  
・日本女子大・名古屋工大 各講師  
・ノバスコティア工科大(カナダ)客員教授

も文献やパンフレット等で知らべる事が出来ますので聞かれる前に既に頭の中に入っている事も必要ではないでしょうか。加えて古い時代から新しい時代迄の諸々な事柄等も一應眼を通しておく事が一層素晴らしいバースを描く為に必要かと思われます。そういう為にも技能検定という試験があるそうですが、私見をのべさせていただきますと皆さんの技術的なレベルの最低限度を守る為の基礎や建築上のある程度の納りや用語等を学ぶ為にも必要かと思います。加えてその検定の社会的地位を高める様に協会の皆様全員が努力して立派な一職種として職業別電話帳に職種が記載される様になりますと本当の意味でのアーキテクチャーランダラーとしての一分野が確立されるのではないかでしょうか。今迄の状態が続く様では単に職人芸になってしまい、あるいは職人芸も極致をきわめますと下手な理論をのべるよりもはるかに高い所でもものを見詰める事になりますが、話を元に戻しますとレンダラーとしての職人芸もさる事なら建築の一分野としてではなく建築あるいは建築家と共に行動が出来る様に皆様にも建築のもつ本質を理解していただき又勉強をし、あるいは実物の素晴らしい建築等を見る事によって内面からも建築を見詰めて下さい。以上これらの事柄は我々の世界にも言える事ですが。

### 安氏紹介

本誌4号、「海外から」で紹介した韓国のレンダラー、安容植氏がAR協会員に'81に向けてメッセージを送ってくれた。以下次の通りである。(全文原稿のまま)

성년과 새해를 맞이하여 삼가 흔쾌의 전복을 바라야

Best Wishes for  
A Merry Christmas and A Happy New Year

満足な80年を送り  
希望に充ちた81年度を御迎えて下さい

韓国から安容植  
140- 韓山区漢南洞 THE SUNG B.D ROOM 201  
安 容 植  
SEOUL, KOREA

と申しますのは皆さんの中にはいろいろ違う分野からこの世界に入ってこられた方々がかなりおられるとの事ですが、単に与えられたものを描くだけでなく建築の持つ意味や建物の持つ歴史的背景、又どうしてこの建物はこういう形になっているのか、機能的にはこれでいいのか考え乍ら仕事をして下さい。建築の設計あるいはデザインにはいろいろなファクターがあり複雑ですが、建築の設計分野にたずさわる人間として広く雑学を納める事が必要かと思われます。我々の世界でも人々にして技術的なものにこだわる余りともすると本質を見失いがちですがそれは日本の学校教育がテクニカルの面にこだわりすぎる余りフィロソフィーや物事を多面的にとらえるというトレーニングがなされていないのではないかと思われます。もしうそでなければ各種専門学校の様に専門的につっ込んで教える事の方が有意義かもしれません。いずれにしましてもプロの世界である以上何処の世界でも同じですが、プロとしての最低限度の知識は学ばなければなりません。最近はプロとアマの差がどの世界でもなくなってしまい自分自身で俺は本当のプロだと誇れる人が少ないのではないでしょうか。その辺のところを考えますとレンダラーの社会は比較的他の社会よりも簡単にに入る為に2~3年も致しますと一人立てる様な話ですが、しかしまつと本質を見極めものを創造してゆく事が大切ではないでしょうか。更に個性やアイデア等が試行錯誤され乍ら今迄以上のレンダリングが生まれてくる事を期待しております。建築の方でもこのとくろ多くのデザインが生まれるものは消え、又あるものはますます発展しておりますが、ニーズの側でも変化がみられ多種多様の要求がなされております。本を開けば世界中のデザインが私達の眼の中に飛込んでまいります。その中から建築の今後の動向が伺い知る事が出来ます、それも皆様方の世界とは無縁とは申せません。何故ならばレンダラーの世界も我々と連理の枝であると私は考えております。今後もお互いに協力しあい乍ら建築界の中に確固たる基盤を築き皆様の分野が更に脚光をあびます事を願い乍ら新春放談を終らせていただきます。

取材(広報委員 山沢 博)

PERSPECTIVE DRAWING

BIRD'S-EYE-VIEW

PROJECT DATA

LANDSCAPE ARCHITECTURE DRAWING  
ARCHITECTURE MODEL

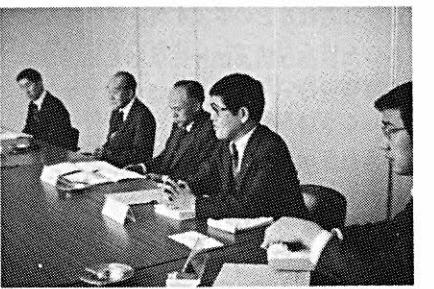
安建社

東京都千代田区麹町一丁目四番三号

TEL: 03-5293-7295 7296

FAX: 03-5293-7297

# 技能協会に解答を求める



(中央職業能力開発協会との  
懇談会風景・左より二人目  
が宮森理事、右隣り丸岡部長)

## 「協会マーク」デザ インポリシーを語る



本協会の目的は、総則の『向上、育成、交流、存在』等の言葉で表わされる通り、極めて巾広く抽象的である為、そのデザイン思想は企業に於て的一般的なそれとは根本的に異なる一面を持っており、又単なるレンダラーズ協会と言う狭議ではなく将来に渡ってその巾の広さと深い意味の内容を持つ発展的なものである為、そのデザインは洗練された手法による『シンプルで躍動的』を基本として考えております。

今回制作されたシンボルマークは、水平は安定を意味し、 $\sqrt{2}$ の等比級数によるグラデーションは立体感と躍動を表わすと同時に細い一本の流れから大きな流れを意味しており、即ち協会の将来を象徴しております。本協会の今後の巾広い活動に対してデザイン的側面からの洗練されたイメージの統一は、社会に対しても重要な役割である事が会員相互の共通の認識である事を前提として押し進めて行く必要があります。(A.D. 森岡 隆)

訂正 ▼4号誌「総会特集号」協会の発展を期待する。と題し来賓者の祝辞を頂きました。芦原義信氏(武蔵工大教授)とあるのは(武蔵美大教授)の誤りでした。訂正してお詫びいたします。

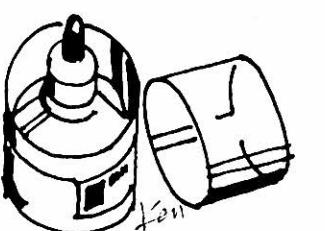
▼同号、<会員名簿>中、会員の名前及び住所の一部が間違っております。御迷惑おかけ致しました。お詫びいたします。尚、正しい名前と住所については現在、協会が「会員名簿」として製作予定しております。今しばらくお待ち下さい。

## マークについて

このロゴタイプを机の前に貼って私は10日間ニラメッコした。実にすばらしい、どんなデザインでもやがて古くなり寿命と云うものがあるが、このマークは100年以上は使える。

外注によらず我々の会員の手で、これほどのレベルのものを作ったという事に意義がある。マークと云うものには、こじつけの意味や頭文字は一切必要ない。当協会のマークにふさわしいものは、スマートで少し建築臭さが漂っていれば満点である。それにつけても公害とも思える日本の施工会社のマークのマズサは何とかならないものか。

A.Dの森岡氏に協会を代表して謝意を表したいと存じます。(福永理事長)



(カット 門脇信夫)

フロッタージュ

55.7.19  
54123

日本女子大学  
竹中工務店入社  
現・主婦・レンダラー(フリー)  
主人は竹中工務店設計課長  
(岩崎昇子)

## ① パースとの出会い

『入社試験の日時が迫っているので、今すぐ履歴書を提出して下さい』と、その人は設計部の打合せ室に忙しそうに入つて来られて、まぶしい様な窓の光を背に、サッと座り、ティキバキと手続きして下さいました。これが私と光藤会長との初対面でした。室内デザインをやりたい、そのためには本格的住宅設計の多い竹中工務店に入社したい、と強い想いを一つのらせていた私は、ある人の紹介で、大学最後の秋のある日、身を堅くして会社の打合せ室にかしこまっていたのでした。この方がインテリアデザイナーでありパースの本等にも御名前の出でた先生なのだな、と私の心は希望にふくらんで居ました。もう17年も昔のこの日の感動が実に鮮明に浮かびます。そして入社が決定して、私は、広い設計室の一隅に位置する、パースペクティブな仕事を主とするグループに配属され、意に反してデザインではなく、これから、5年程の間、昼も夜もパースを描く仕事に追いまくられる事になったわけです。元来絵心が有った(?)せいもあり、完成図を描く事も嫌いではなかったのですが、なにせ、室内デザインをやりたい一心だったものですから、せっかくスパラシイ先輩が居られたのにもかかわらず、実に私は向上心の無い新入社員で有りました。今はフリーで事務所をやって居られる山沢博氏や速水さん等が当時グループにおられ、鮮やかなテクニックの筆のはしりや、パースに対する哲学を持っておいででした。なのに当時の私は実にほんと新しい社会人としての生活を楽しんでおりました。そんな私の心の暖昧さを見抜かれたのか、また図面の読み方、パースの下図の起し方、絵具でのガラスや石や、コンクリートの表現の仕方を、机の上で言われるままに練習して居た私は、速水さんが、この仕事は女性に適している事、描けば描く程、奥が深く、決して覚えて無駄ではないこと、をポツリと語られた時、やっと私の中で少し流れるままに、やってみようかな、と心が動いたのでした。そしてその頃の日本は、新幹線営業開始、オリンピック東京大会の予想以上の成功に浮かされ、建設業会も又日本列島改造論に、つき動かされて、末端の私までもが、仕事の禍に巻き込まれて行ったのでした。(つづく)

# 画材店点描

株 いづみや  
銀座営業所長 鶴田 正彦

私が営業部に配属され初めてセールスに出たのは10年前、当時「レンダリング」「パース」の言葉も知らず、注文いただいた商品をお届けするしか能のない私は、図面から筆一本で本物そっくりの建物が描き出されるのを目撃してもらひ唯々びっくりするばかりでした。又、ガッシュ、W・N筆、キャンソンボード等々、他の同種商品より価格が高いにもかかわらず何故それが必要か一画材の質の重要性についてもお客様との話の中で教えていただきました。この時代、私の担当でお世話をなったのが竹中さん、熊谷さん、福永さん、日建さん方で今思いますと商品知識のない私はずいぶん迷惑をかけたのではないかと申し訳なく思っております。

最近は表現材料にマーカー、オーバーレイシート等従来と違った素材が多く使われ、又表現方法も平面だけでなく立体(建築模型)もと広がっている様にお届けしている材料を通じてパース分野の進歩を感じている次第です。

常日頃、私共いづみやはお客様のご意見、ご要望を参考に喜ばれお役に立つ商品をお届け出来る様頑張っております。新しいところではパース専用フレーム、プロフォームカッター、フリードライバー等ですがご利用いただいている所までありますでしょうか?

いづみや画材 デザイン材を中心とした店舗

【関西支部会員】松村範也、當山悦司、柳谷隆、芳谷勝・、森義雄、兼元和美、津田勉、岡陽子、刈谷篤介、中根典子、井之内一夫、秋岡勉、吉田二千男、龍明、西川日出世、芳野明  
(準会員) 川嶋俊介、川上裕臣、刈谷司、吉田友則、安井誠一、青木佳明

## ミニコミ紹介

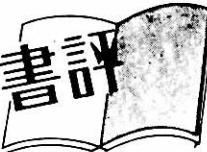
★会員の山城氏は、「全日制パース専門学校」を今年の4月に開校予定している。山城デザイン研究所の主催で、2年制の専門教育をめざし、少人数、全日制で授業は、月曜日~土曜日迄、その間技術、造形理論(建築よりグラフィックまで)といった密度濃い教育内容をもち、パース業界の学校システムとしては初めてといえる好企画が注目される。

★グラフィック社は、9月に「精選現代建築パース集」を発行予定している。当協員の作品も多数掲載予定されている。

★日建のパース展覧会に関する記事が、日経アーキテクチャ2月2日号、新建築3月号ニュース欄にそれぞれ掲載された。又日刊建設通信2月2日号にも掲載され、更に展覧会期間中には、1日1点解説付で作品紹介がなされる。又建築画報でも内容の掲載を企画予定中。

★光藤会長の千支話しが日刊建設通信に掲載される。1月1日付。

★A.R.関西支部設立準備大会の模様が12月13日に日刊建設通信関西版に掲載される。



住宅の家具(学芸出版社) ¥1200  
光藤俊夫著

レンダラーズ協会の光藤会長の著書で昨年10月に出版された「住宅の家具」と云う本、このタイトルだけ見るとナンダ家具の写真集か、と思いきや、何と達者なペンアンドインクのパースでまとめられており、トラからモダンまでのファニチャーがエッセイのような楽しい文章で解説されており、こんな部屋にはこの家具をと云ったアドバイスがとてもわかりやすく親しめる本です。

週刊誌等で見るお住い様見で一流建築家の設計による家を見て家具とのアンバランスでガッカリさせられることがよくあります。「家具は予算の都合でその内徐々と…」とたいていはコメント付ですが、当初から建築家のアドバイスで、マッチした家具を入れないと、生活が始まると仲々そろえられないことは知っている筈です。施工主を説得するのも良い家を作る腕の見せ所の一つだと思うのですが…

(福永 文昭)

## 新会員紹介

【東京支部会員】四十澤健文、井出野芳枝、村井謙介

# 編集室



新しい年'81を迎えました。会報誌もVOL2となり通巻5号をお届けすることが出来ました。今年はA.R.協会にとって輝かしい年になりますよう皆様と共にこの一年歩んで行きたいものです。現在広報活動を担当してくれている会員の声をお届け致します。  
「会報がただの紙切れ終らないように全員参加して楽しい誌面にしたいのです」(中野)、「情報を豊富にピックアップ出来るまで集めることができます」(四十澤)、「キャリアウーマンと題しての記事を担当することになりました。楽しい記事を書いても

らいたいものです。女性の味方を自認していますのでよろしく」(菊地)、「広報委員としての実務能力は苦手の分野ですが出来るだけ好奇心と努力とでいい誌面づくりを是非やってみたいと思っています」(いでの)、「広報委員はたいへんです!皆様御協力お願いします」(福田)、「協会の仕事が特定の人に集中しており、いろいろな面で大変です。しかし協会が確固たるものになる迄皆で辛棒して頑張ります」(山沢)、「今年こそ」と心を新たにしたばかり、又皆様の後からついて行く一年になりそうです」(近藤)、「A.R.という名前が表に出てまだわずかな期間、これから広報を通じ全般的な内容を把握し、0から組み立てるという一つの楽しみが増した様な気がしてます」(落合)、「広報委員として今年も更に頑張りたいと決意も新たにというところです」(山中)、「寒い季節です。せめて描くパースには太陽が一杯感

じられる暖かいものを描きたい、そんな気持の毎日です」(村崎)、「協会の仕事を担当し、広報の重要性を再認識させられました。少しでも適応出来るよう頑張ります」(深谷)。

広報委スタッフの努力により予定通りの発行を見ました。誌面の充実と予定通りの発行へと後悔して行きたいと思っております。今号の特長を三つ述べてみます。その一つ、表紙のマークが変わりました。4号誌までは暫定ということでした。二つ目、新しい連載が登場しました。光藤会長の「筆箋」はその一つ。巧みなスケッチとユーモラスな文章は回を重ねるに従います。次回が待たれます。最後三つ目、女性の地位向上が叫ばれて久しい。この分野で活躍する女性は多くいます。デザイナーとしてレンダラーとして日頃のプロフィールを紹介します。「キャリアウーマン」この次は貴女です。(佐)